

火災を背負う明王を拝し 信仰・創業ともに百年

株式会社ウドノ医機
代表取締役社長

鵜殿直子さん

〈東京都八王子市〉



不動産まは火の神さまだ」ということで、創業当初から成田のお不動さまにおまいりをしていたそうです。

創業百周年おめでとうございます。

鵜殿直子さんは、昭和三十六年（一九六二）東京都八王子市のお生まれ。現在、株式会社ウドノ医機の代表取締役社長をお務めです。同社は、直子さんの祖父、廣久氏が、大正十三年（一九二四）に創業手術で使用されるメスや鉗子、リネン類など医療用品の滅菌装置を日本で初めて開発した会社です。二代目社長で父の文雄氏が大型装置用の工場を新設するなど事業を拡大。平成二十二年（二〇一〇）には直子さんが三代目社長に就任し、本年八月に百周年を迎えます。

鵜殿 ありがとうございます。創業から滅菌装置製造一筋にやってきました。これまで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちでいっぱいです。

祖父は横須賀で米軍病院船のメンテナンスをしていました。当時、米軍の医療機器はドイツ製だったそうですが、日本も同様に輸入頼みでした。国産の機器があれば安価に製造できて多くの方のためになると研究を重ね、医療に欠くことのできない滅菌装置に注目し、本格的に製造を開始したそうです。製造には溶接が必要となり、溶接には火を使います。「お

祖父は横須賀で米軍病院船のメンテナンスをしていました。当時、米軍の医療機器はドイツ製だったそうですが、日本も同様に輸入頼みでした。国産の機器があれば安価に製造できて多くの方のためになると研究を重ね、医療に欠くことのできない滅菌装置に注目し、本格的に製造を開始したそうです。製造には溶接が必要となり、溶接には火を使います。「お

代々信仰も受け継がれて。

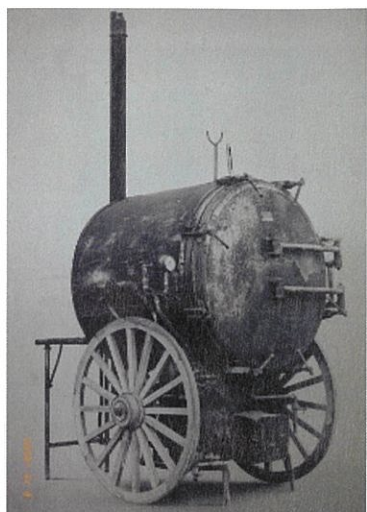
鵜殿 私自身は成人を機に父についておまいりを始め、今では社員と一緒に初詣しています。五、六年前からのことです。が、とても気持ちがいいから次も連れて行ってくださいと、十一月ごろになると、いつのまにか一月の会社の予定表に「成田山初詣」と入っています。六時からの朝護摩を護摩壇の一番近くでおまいりするのために、深夜二時に八王子を出ます。お護摩の火を間近に拝して、事業繁栄、

災難消除、工場安全、交通安全を祈ります。その足で八王子に戻り、会社と工場に御護摩札をおまつりします。毎日、朝晩に会社のお札に手を合わせ、無事に過ごせていることへの感謝を捧げています。

苦難に耐え忍び
ひたすら精進努力

新しい工場を建てられたそうですね。

鵜殿 現在は医療用だけでなく、医療機器メーカー、研究施設、薬やサプリメントなどヘルスケア製品製造で使われる産業用の滅菌装置も作っております。近年、医療用と産業用の生産が一つの工場では



祖父・廣久氏が開発した滅菌装置の1号機。大八車に乗せた可動式で陸軍野戦病院で使用された

追いつかなくなり、令和四年に工場を新設しました。また今年の夏には、創業百周年記念の事業である、父の建てた工場の建て直しが完了します。順調に仕事をいただけていることに感謝です。

実は十五年ほど前、お客さまに出させていただいたお見積もり期間中に材料がどんだん値上がってしまった、大きな損失が出てしまったのです。そのことで、祖父が建てた工場と土地を泣く泣く手放しました。心が折れそうになりましたが、今が一番大変なときならば、あとは良くなるだけだと信じ、社員一丸となって頑張りました。そのうちに大きな商談がまとまったり、「ウドノさんを潰しちゃいけない」と応援してくださるお客さまがいらしたりして、何とか回復することができました。きっと私たちの頑張りを見守り、お不動さまがご利益を与えてくださったのだと思います。

大きな損害からの厳しい状況の中で、医療用品以外の滅菌の需要を探るうちに、産業用装置の開発と営業を行うようになりました。今では半分の製造が産業用装



本年8月完成予定の橋原工場(完成予想図)。創業100周年を記念し、父・文雄氏が建てた大型滅菌装置製造工場が、産業用装置専用工場に生まれ変わる

置と、弊社に欠かせない事業となつていきます。まさに怪我が功名です。窮地に陥った後、まさかこんなにも早く工場の建設を立て続けに行えるようになるなんて思ってもいませんでした。本当に夢のようなです。

私たちの使命は、医療従事者皆さまの円滑な業務をサポートすることです。これからも、使いやすく安全で、お客さまに満足いただける装置を作り続けていきます。

ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りいたします。